

株主・投資家の皆様へ

トランスコスモス株式会社 証券コード：9715

第29期

2013年4月1日



2014年3月31日

トランスコスモス通信

トランスコスモス株式会社は、1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より付加価値の高いサービスを提供してまいりました。お客様企業にマーケティングの最適化および効率化、EC・通販事業などの売上拡大や、バックオフィスや情報システム運用などの業務効率向上とコスト削減を実現する、総合的なITアウトソーシングサービスを世界規模で提供し、お客様企業の「Global IT Partner」を目指してまいります。

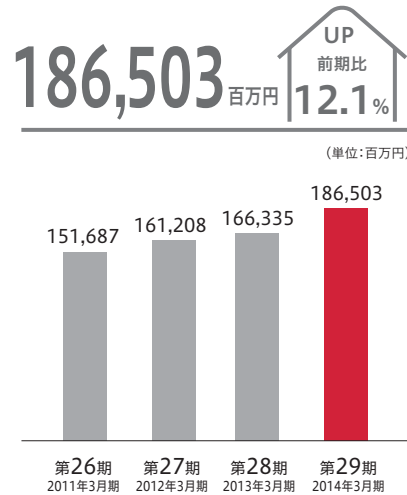
trans
cosmos
people & technology

 Your Global
IT Partner.

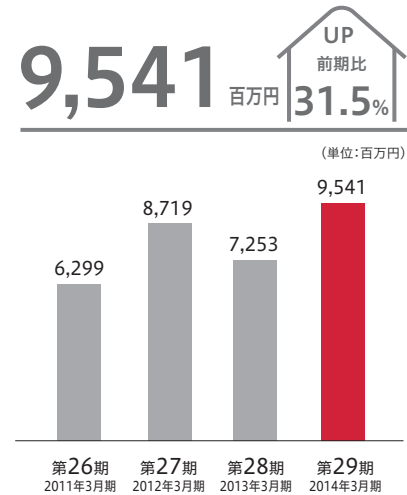
あなたの、グローバルITパートナーを目指して。

株主・投資家の皆様には、
平素より格別のご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに株主・投資家の皆様へのご挨拶と、
2014年3月期
(2013年4月1日～2014年3月31日)の
業績に関するご報告をいたします。

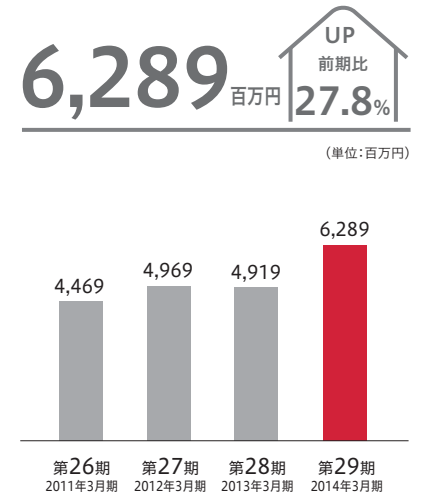
■連結売上高



■連結営業利益



■連結当期純利益



当期の決算の概要について

当社グループの関連する情報サービス業界では、ITを活用したマーケティングの最適化、コスト競争力強化、業務改革など企業経営の改善に繋がる業務アウトソーシングビジネスの需要が拡大しております。また、EC(電子商取引)を活用した商品・サービスの売上拡大を模索する動きも活発化してきており、これらのニーズに伴うアウトソーシング需要も拡大しております。

このような状況の下、当社グループは、コールセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシング

サービス、デジタルマーケティングサービスなどお客様企業の売上拡大とコスト削減を支援するアウトソーシングサービスの提供と創出に注力しました。その結果、既存業務の拡大、新規業務の獲得などサービス受注が順調に増加し、さらに生産性向上・品質向上に努め利益率の改善に取り組んだ結果、収益面についても好調に推移しました。

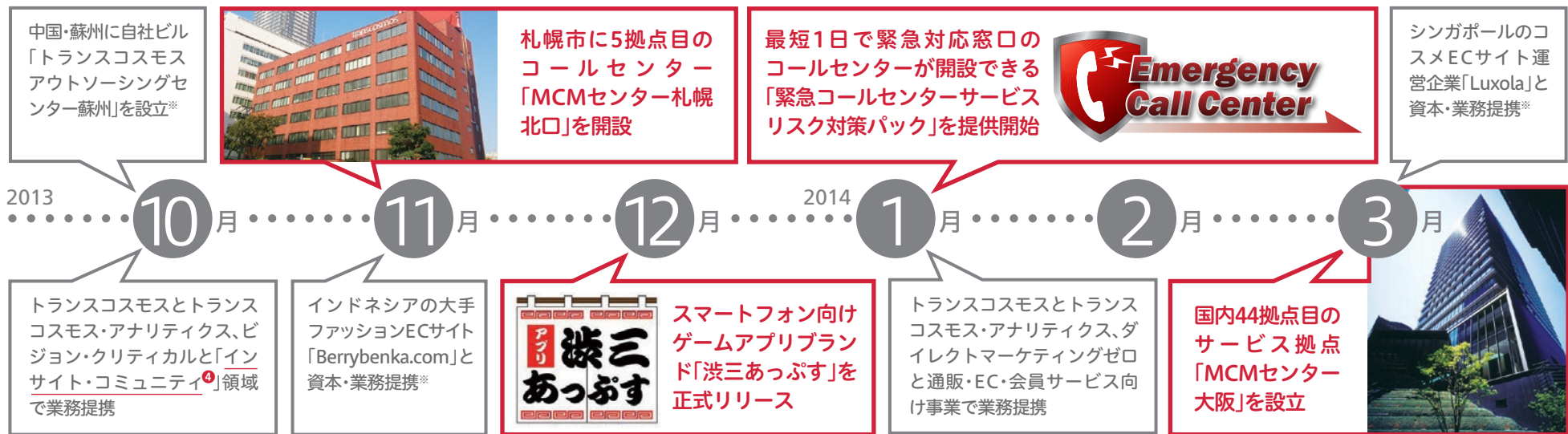
当期の取り組みについて

コールセンターサービスについては、需要拡大に伴い、北海道、大阪にそれぞれセンターを新設しました。また新サービスとして情報漏えいやリコールなど

緊急事態発生時に最短1日で緊急対応窓口のコールセンターが開設できる「緊急コールセンターサービス リスク対策パック」の提供を開始しました。さらにインドネシアに大手財閥サリム・グループとの合弁会社、PT. transcocosmos Indonesiaを設立し、現地市場向けにコールセンターサービスの提供を開始しました。ビジネスプロセスアウトソーシングサービスについては、オフショアサービスを提供する中国の総合アウトソーシング拠点として、自社ビル「トランスコスモス アウトソーシングセンター蘇州」を設立、さらに中国・大慶にもオフショア拠点を新設するなど、多様な企業ニーズに応えるためのグローバル・デリバ

用語解説

①DSP→Demand Side Platformの略称で、広告効果の最大化を支援する広告主側の広告管理ツールのこと。広告主が広告在庫の買い付けからターゲティング、配信まで一括管理でき、適切なターゲットへ必要なだけ広告配信できる点も特徴である ②アドテクノロジー→テクノロジーを駆使した広告のこと。主にインターネット技術を活用した広告領域全般のことを指す ③フルフィルメント→消費者などからの発注を受け、商品の梱包、発送といった業務をする管理運営のことで、一般的には受注管理・在庫管理・発送業務・入金管理・顧客データ管理などがあ



リー体制の強化を図りました。デジタルマーケティングサービスについては、スマートフォン向けゲームアプリの開発・提供や、DSP¹ サービスをはじめアドテクノロジー²の進化に伴って新たなサービスを次々とリリースしました。その他、分析・ビッグデータ関連では、通販・EC・会員サービス事業者を対象とした調査・分析サービスの拡充を図りました。

一方で、将来の成長戦略に向けてお客様企業のECビジネスをグローバルでワンストップ支援するアウトソーシングサービス体制の強化、推進に努めました。具体的には、アメリカのECアウトソーシング業界大手のPFSweb, Inc.、中国の大手ECフルフィルメント³・

⁴インサイト・コミュニティ→自社の商品・サービスを利用しているユーザー顧客をオンライン上で募り、オンライン上でコミュニケーションを図ることで顧客の潜在意識や行動様式などの情報収集を行う調査集団のことを指す

物流企業の上海合驛物流有限公司(FineEX)、インドネシアで大手ファッションECサイトを展開するPT.BERRYBENKAと、それぞれ資本・業務提携を行いました。さらに、東南アジア8カ国に越境コスメECサイトを展開するシンガポールのLuxola Pte. Ltd.との資本・業務提携に合意するなど、東南アジア地域での体制強化を積極的に図っております。

今後の取り組みについて

引き続き、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。また、今後も高い成長が見込まれるASEAN市場において、

お客様企業のEC事業を支援するグローバルECワンストップサービスの展開を強化していきます。

株主の皆様へのメッセージ

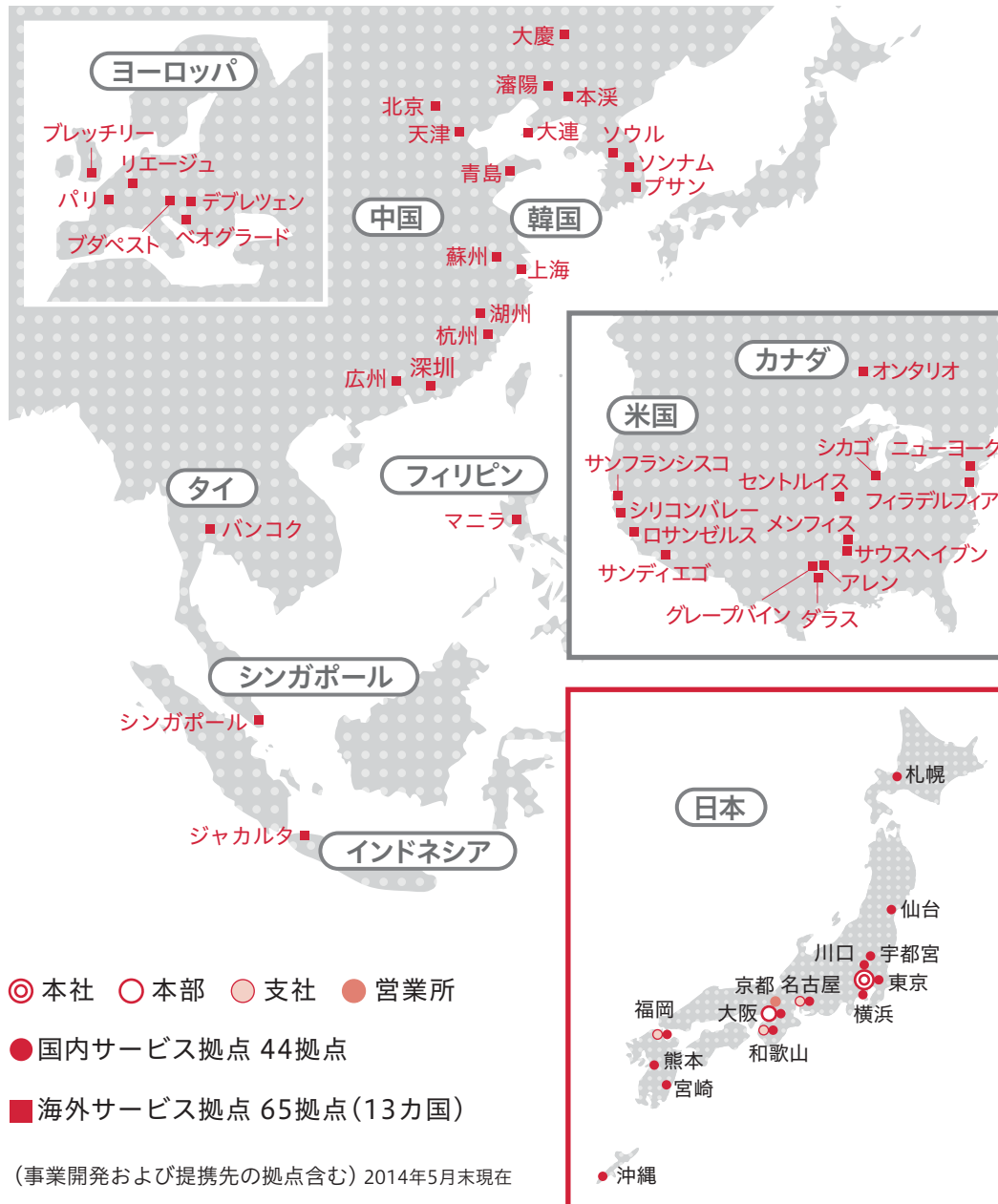
当期の配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株当たり46円とすることを第29回定時株主総会でご承認いただきました。また来期の配当につきましては、現時点では未定としておりますが、具体的な配当金額が決定した時点で速やかに公表いたします。

引き続き、株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

トップメッセージ
トピックス
国内・海外拠点
事業紹介
導入事例
クロスアップ
連結財務情報
CSR活動の報告
会社・株式情報
コーポレートガバナンスの報告



ビジネスプロセスアウトソーシングサービス

経理・財務や人事などのバックオフィス業務、受発注業務、情報システム運用保守業務、機械・建築設計といった設計業務など企業のノンコア業務を支援するアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本国内における最大規模のオフショアサービス体制を確立 (中国・タイなど、14拠点・3,350名*)
- システム開発/運用・オーダープロセッシング・建築設計・機械設計・組込開発・データ入力・人事/総務/経理/バックオフィスと幅広い領域においてサービスを提供
- 業界に先駆けて1995年に中国でのオフショア開発体制を確立
- 豊富な実績 (創業48年、ヘルプデスク^⑤ 業界トップクラス)



用語解説

^⑤ヘルプデスク→パソコンやソフトウェアの使用方法やトラブルに関する問い合わせに対応する企業内の業務のことを指す。社外に委託する場合も多い

デジタルマーケティングサービス

インターネットインフラを活用したマーケティング活動を支援。インターネットプロモーション、Webサイト構築・運用、EC通販事業支援、分析・リサーチサービスなどを提供。

当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたデジタルマーケティングサービスプロバイダー
- インターネットプロモーションからWebサイト構築・運用まで全てをワンストップで支援する体制を確立
- 国内最大規模のWebサイト構築・運用体制を確立（国内2,000名）
- サンフランシスコに事業開発拠点を構え、最新のアドテクノロジーを積極的に導入

コンタクトセンターサービス

顧客からの問い合わせや苦情対応、商品・サービスの案内や営業セールス支援など、顧客サポート業務のアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたアジア最大規模のコンタクトセンターサービスプロバイダー
- 国内22拠点・13,470席*、海外23拠点・6,730席*の国内最大規模のコンタクトセンターサービスを提供
- 金融・テレコム・ハイテク・医薬・化粧品・流通・自動車・航空・公共など多分野での取引実績
- いち早くソーシャルメディアでの顧客サポートを専門的に行うソーシャルメディア渋谷センターを開設



株式会社日本旅行 様

CMSとレコメンドエンジンの有効活用でWebサイトの運用スピードが向上。サイト訪問者別に最適な情報を表示し注力コンテンツへの流入率が170%伸張。



課題	Webサイトにおいて、最適なタイミングでユーザー一人ひとりに合わせた情報提供	導入サービス	Webサイト構築
成果	①CMSとレコメンドエンジンを有効活用したWebサイトリニューアル ②CMSの追加機能開発で運用スピードが向上し、業務効率化を実現 ③レコメンド機能の強化でトラフィックが増加し、注力コンテンツへの流入率が170%伸張		

お客様からの声



株式会社日本旅行
個人旅行営業統括本部
ICT営業推進部
販売チーム
販売企画・Webマスター
主任

須藤 光 様

「幅広いノウハウを活かした提案力と大変熱心な取り組み姿勢に感謝しています。」

弊社は創業100年以上続く旅行会社として、店頭で行っているお客様への接客と同じように、ホームページ上でもお客様一人ひとりに最適な旅行情報をご案内していきたいと考えています。

この目的を実現するための第一歩として、2013年のホームページリニューアルでは、北海道から沖縄までの全国を11エリアに分けた旅行商材の出し分けと、お客様の閲覧履歴に応じたコンテンツ表示の最適化等を実施しました。


トランスコスモスさんには、利用者目線でのツールの選定からお客様目線での最適な表示方法まで、熱心に取り組んでいただき、大変感謝しています。問題にぶつかった時も、幅広いノウハウをもとにスピーディーに解決策をご提案いただいたおかげでスケジュール通りにリニューアルを実施することができ、結果的に離脱率の改善にもつながりました。


今後もトランスコスモスさんには、信頼できるパートナーとして、お客様目線での新しいご提案をし続けていただくことを期待しています。

トランスコスモスは、将来の成長戦略に向けてアジア地域でのビジネス展開を加速。
急成長しているアジア市場での新たなアウトソーシング需要の獲得と、拡大する日本企業の
アジア進出を支援するためのグローバルサービス体制を強化しています。

 **2013年7月**
中国大手ECフルフィルメント・
物流企業FineEXと
資本・業務提携を発表

2013年10月
トランスコスモス
アウトソーシングセンター蘇州を
設立

 **2014年4月**
タイ
会員数550万人以上のASEAN
最大の電子書籍ストア
「Ookbee」と資本・業務提携を発表

 **2014年3月**
シンガポール
ASEAN8カ国に展開するコスメEC企業
「Luxola」と資本・業務提携を発表

 **2013年6月**
インドネシア
トランスコスモス・インドネシア株式会社
(PT. transcocosmos Indonesia)
設立

2013年11月
インドネシアの大手ファッションECサイト
「Berrybenka.com」と資本・業務提携を発表

China



中国

●資本・業務提携

- ・中国ECフルフィルメント・物流企業のFineEXと資本・業務提携
- ・中国EC市場における物流・フルフィルメント機能を強化し、中国ECワンストップサービスを展開



●拠点強化

- ・自社ビル「トランスコスモス アウトソーシングセンター蘇州」を設立
- ・2017年までに1,000人規模の総合アウトソーシング拠点への拡大を目指す（新たに2期ビルの設立を計画）

社名	上海合驛物流有限公司 (FineEX)
所在地	中国 上海
設立	2008年
事業内容	ECフルフィルメント・物流事業。ECビジネスに必要な倉庫業務・配送までをサポート。総稼働面積4.4万m ² のデリバリーセンターを有し、中国本土のEC利用者居住地域をほぼカバーする広大な配送エリアを持つ
出資比率	20% (持分法適用会社)

拠点名	トランスコスモス アウトソーシングセンター蘇州
所在地	中国 蘇州
面積	土地面積：7,997.96m ² 建設面積：約5,400m ² (1期ビルのみ)
収容人数	1,000人 (2期ビルの完成後)
事業内容	日本市場向けオフショアサービス (システムインテグレーション、ビジネスプロセスアウトソーシング)



Indonesia

インドネシア

●会社設立

- ・インドネシア大手財閥サリム・グループと合併会社を設立
- ・東南アジア最大経済圏のインドネシア市場向けにコールセンターサービスを中心に事業開始

●資本・業務提携

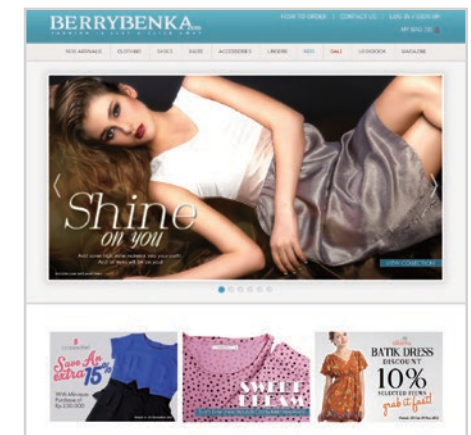
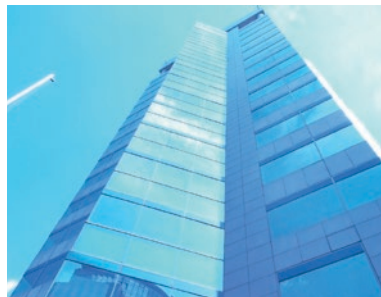
- ・インドネシアの大手ファッションECサイト「Berrybenka.com」と資本・業務提携
- ・ファッションECサイト「Berrybenka.com」を活用し、日本企業のインドネシア市場でのECビジネス展開を支援

transcosmos Indonesia

BERRYBENKA.com FASHION IS JUST A CLICK AWAY

社名	トランスコスモス・インドネシア株式会社 (PT. transcosmos Indonesia)
所在地	インドネシア ジャカルタ
設立	2013年6月
資本金	約2百万米ドル
事業内容	コールセンター、ソーシャルメディアマネジメント、VOC (顧客の声) 分析
規模/対応言語	514席/インドネシア語

社名	PT.BERRYBENKA (ベリーベンカ)
所在地	インドネシア ジャカルタ
設立	2012年
事業内容	ファッションECサイト「Berrybenka.com」の運営。取り扱いブランドは500以上
出資比率	30%以上



Thailand Singapore

シンガポール

●資本・業務提携

- ・ASEAN8カ国に展開するコスメEC企業「Luxola」と資本・業務提携
- ・コスメECサイト「Luxola.com」を活用し、日本企業のASEAN市場でのECビジネス展開を支援



社名	Luxola Pte. Ltd. (ルクソーラ)
所在地	シンガポール
設立	2011年
事業内容	コスメECサイト「Luxola.com」の運営。シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、UAE、ブルネイ、香港など8カ国で展開。取り扱いブランドは100以上
出資比率	20%以上



タイ

●資本・業務提携

- ・会員数550万人以上のASEAN最大の電子書籍ストア「Ookbee」と資本・業務提携
- ・「Ookbee」の顧客向けEC物販やサポートビジネス、「Ookbee」を活用した日本企業のタイ進出などを支援



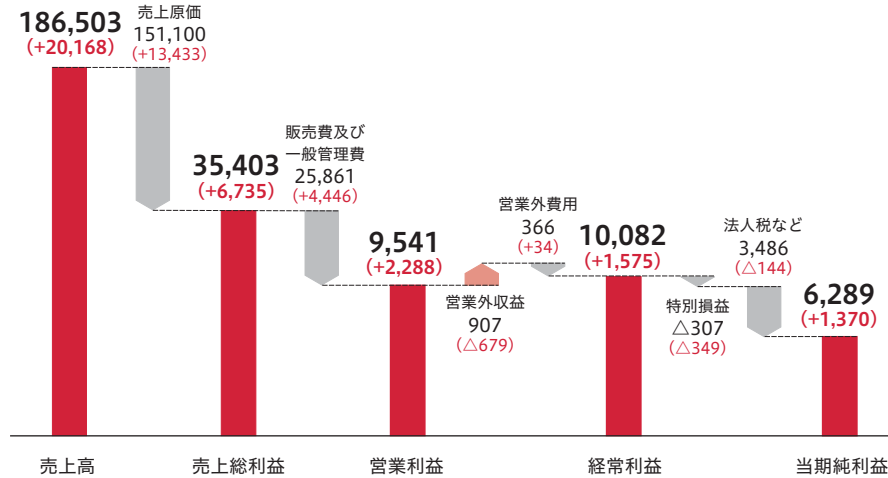
社名	Ookbee Company Limited (ワークビー)
所在地	タイ バンコク
設立	2012年
事業内容	E-Bookストア。E-Bookアプリのダウンロード数650万超、会員550万人以上。タイの最大手通信キャリアであるAIS社と提携しデジタル書籍・雑誌の配信連携。タイのほか、マレーシア、フィリピン、ベトナム、シンガポールでサービスを展開
出資比率	10%以上



■ 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。
※()内数字は前期比増減

売上高

コールセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、デジタルマーケティングサービスなどの主要サービスを中心とした当社グループの主力事業である単体サービスの受注が好調に推移しました。また一部BtoC子会社を連結範囲に含めた影響などもあり、売上高は前期比12.1%の増収となり、過去最高売上を更新しました。

営業利益

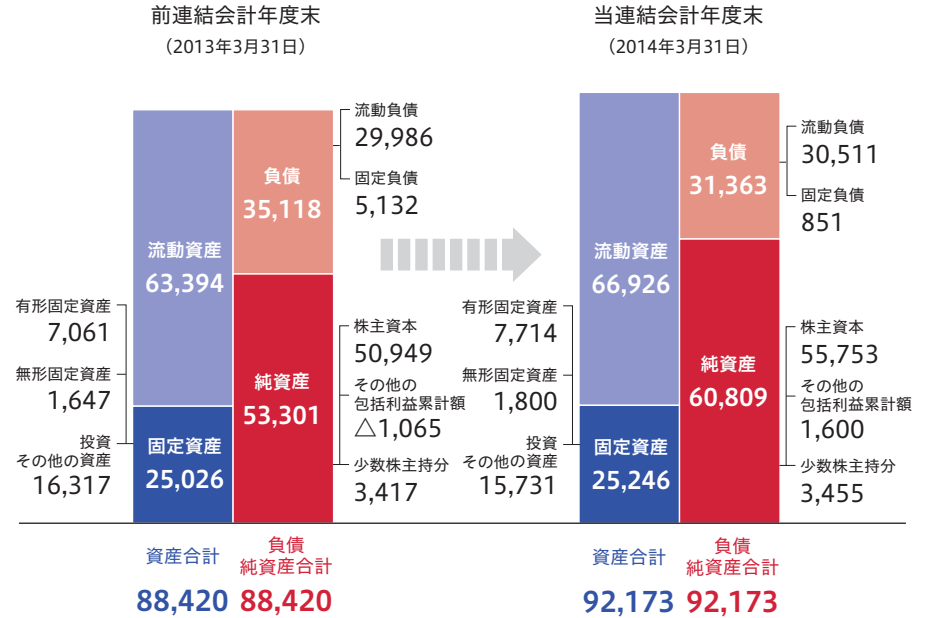
主力事業である単体サービス、BtoB国内子会社の収益性が改善しました。また一部子会社を連結範囲に含めた影響で販売費及び一般管理費が増加する影響はあったものの利益拡大に寄与し、営業利益は前期比31.5%の増益、リーマンショック以降の最高益を更新しました。

当期純利益

事業の収益性改善に加えて、重要訴訟の和解に伴い税金費用などが減少したことにより当期純利益は前期比27.8%の増益となりました。

■ 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



総資産

総資産は、前連結会計年度末に比べて3,752百万円増加しました。このうち流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したことにより3,532百万円増加しました。固定資産は、関係会社株式の新規取得による増加や、投資その他の資産のその他に含めていた訴訟仮払金の減少などにより220百万円増加しました。

負債

負債は、主に借入金の返済による減少や訴訟損失引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3,755百万円減少しました。

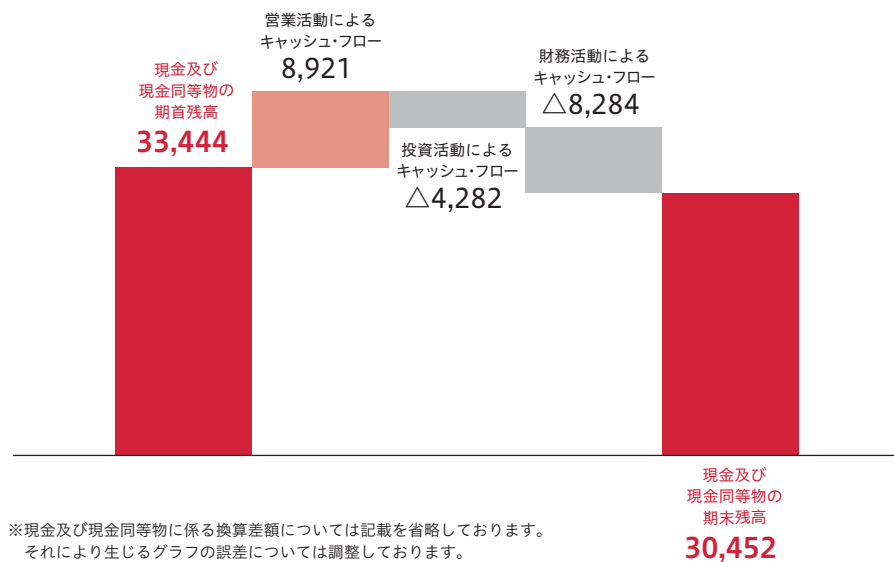
純資産

純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の変動による増加など、前連結会計年度末に比べて7,507百万円増加しました。これにより自己資本比率は、62.2%となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)



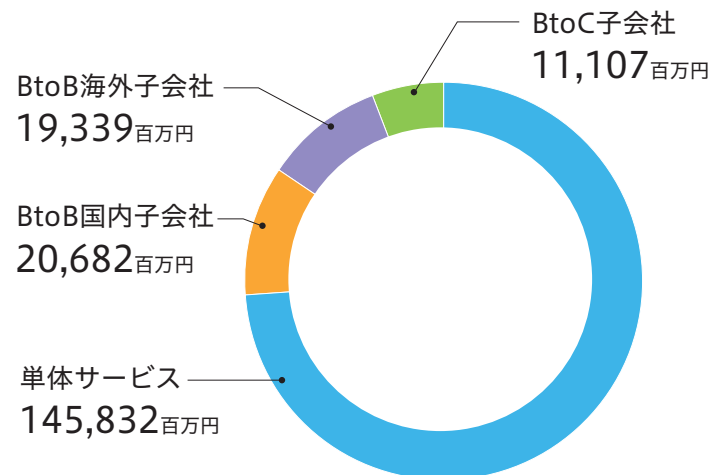
※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことにより、前連結会計年度と比べ184百万円収入が増加しました。投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の取得による支出が増加したことにより、前連結会計年度と比べ4,030百万円支出が増加しました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が減少したことにより、前連結会計年度と比べ3,692百万円支出が減少しました。

■ セグメント別売上高

当連結会計年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)



注)セグメント間取引消去等△10,458百万円は含まず

単体サービス

当社のコールセンターサービスなどを中心としたワンストップのアウトソーシングサービス事業

BtoB国内子会社

国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoB海外子会社

海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoC子会社

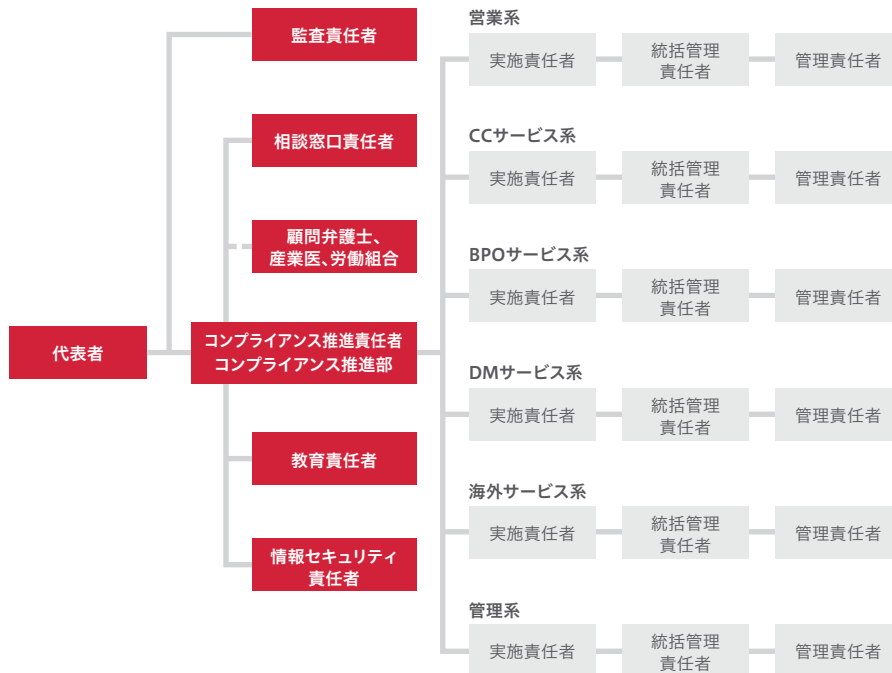
消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

CSR活動 ~コンプライアンス推進~

当社は、コンプライアンスを事業遂行のための基本的かつ重要な事項であると考えています。社内でのコンプライアンスの更なる浸透へ向け、各種の取り組みを行っています。

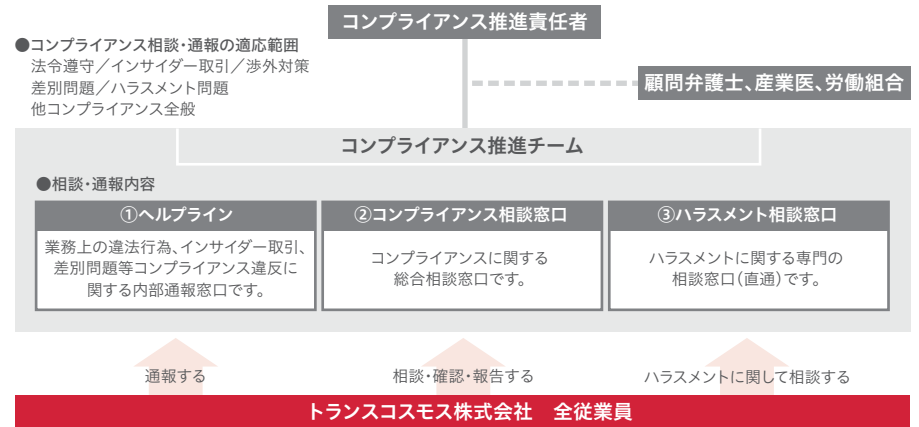
コンプライアンス推進体制

代表者を長とする「コンプライアンス推進体制」を構築し、全社をあげてコンプライアンスの推進・向上に取り組んでいます。



コンプライアンスに関する通報・相談窓口体制

内部通報窓口のヘルプライン、ハラスメントに関する相談窓口、コンプライアンス全般に関する総合相談窓口を設置しています。



主な推進活動

- e-ラーニングによる教育研修・試験の定期実施
- コンプライアンス内部監査の実施
- コンプライアンスマガジンの発行（月刊） など



当社では、情報資産を適切に管理・保護していくことが当社の事業活動の基本であり社会的責任であると考えます。また、お客様企業により安心して活用していただける情報セキュリティ管理体制の展開と継続的な強化を図っています。

国内拠点の情報セキュリティへの取り組み



JQA-IM0223

当社では、コンタクトセンターをはじめとした国内各拠点において、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC 27001の認証を取得しています。

認証基準	ISO/IEC 27001:2005 / JIS Q 27001:2006
登録証番号	JQA-IM0223
登録事業者	トランスコスモス株式会社
登録日	2005年3月18日 (ISMS Ver2.0/BS7799認証取得日)
登録更新日	2014年3月18日
有効期限	2017年3月17日
審査登録機関	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)
登録活動範囲	顧客要求事項に基づく下記業務の運営 (1) コンタクトセンターサービス (2) ビジネスプロセスアウトソーシングサービス (3) データセンター監視業務 (4) データエントリおよび付帯業務

関連事業所	MCMセンター札幌大通南/札幌大通北/札幌駅前/仙台駅前/仙台広瀬通/駒込/池袋/四谷/多摩/名古屋/和歌山/福岡/宮崎青島/那覇/沖縄/沖縄コザ [上記(1)] MCMセンター横浜/梅田/宮崎駅前/那覇壺川 [上記(1)(2)] BPOセンター大阪本町/熊本 [上記(2)] MSPセンター沖縄 [上記(2)(3)] BPOセンター川口 [上記(4)]
-------	---

グループ会社の情報セキュリティへの取り組み

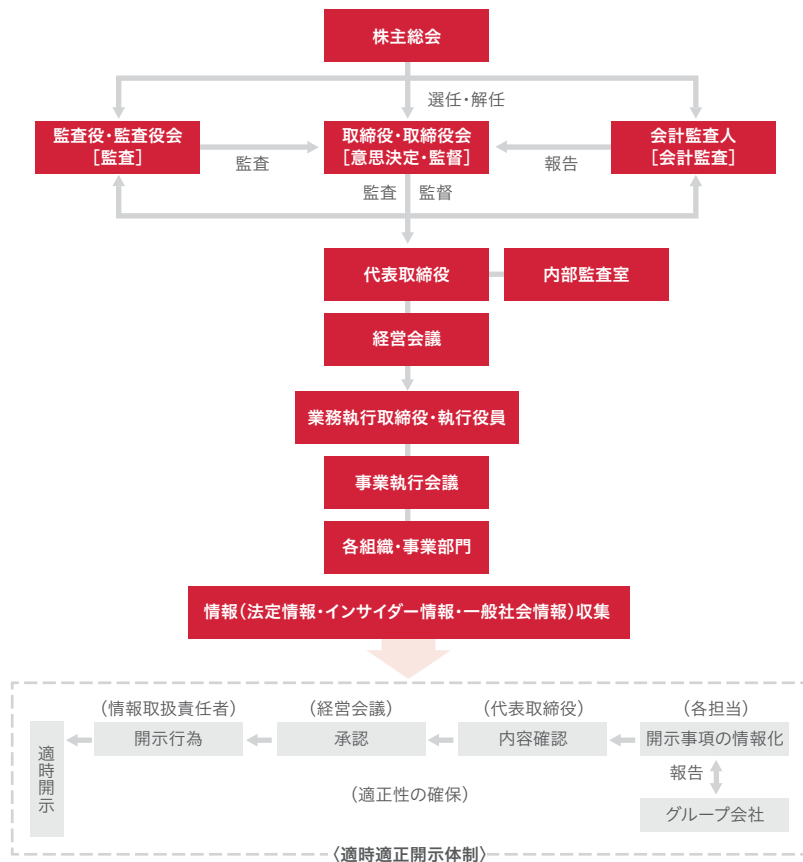
当社グループでは、中国でオフショア事業を展開する子会社を中心に、日本と同様にISO/IEC 27001の認証を取得しており、高セキュリティ、高品質なサービスの提供を目指し、環境を構築しています。



コーポレートガバナンス

当社は、コーポレートビジョンとして掲げる「お客様の満足が大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。」を具現化するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の最重要課題のひとつと認識し、株主の皆様やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員等の各ステークホルダーと良好な関係を築き、お客様に満足していただけるサービスの提供、経営責任と説明責任の明確化、透明性の高い経営体制の確立および監視・監督機能の充実に努め、企業価値の最大化を目指しております。

コーポレートガバナンス体制図



● 社外取締役からのコメント



社外取締役 瀧浪 壽太郎

トランスコスモスでは、企業経営における意思決定や行動はスピーディーかつ柔軟性をもって各事業に反映され、今日のグローバル時代において国内にとどまらず海外の各拠点・事業に行き渡っております。

日々の営業やサービス提供活動においても顧客の現場と密接に結びつき、トランスコスモスに対する期待あるいは期待以上のサービスが提供されており、さらに進化いたしております。なぜならば、現場経験に基づいて事業分野ごとにコンサルテーションやシステム構築を行い、その後の運用まで顧客と共にあるいは委託を受けて責任をもって対応しているからです。

また、EC事業をはじめとした新規市場への取り組み、グローバル展開と新技術の習得・導入、グローバル展開にふさわしい人材育成・社員教育な

ど、常にチャレンジを続けており、顧客へのサービス品質・満足度向上に努めております。

それゆえに、健全なガバナンス体制のもとリスクマネジメントなどをしっかりと機能させ、顧客・投資家をはじめとする各ステークホルダーの満足度向上に努め、さらに必要とされる企業へと進化し続けております。

以上のような状況から、社外取締役の立場といたしましては企業経営の意思決定や行動、事業の推進や発展を継続的に進化・向上させ、各ステークホルダーの満足度向上を継続的に維持できるよう、企業経営の意思決定プロセスをしっかりと認識し、トランスコスモスが提供しているサービスを理解して、自らが経験してきた会社経営や市場環境の認識・知識、リスクマネジメント対応、ステークホルダーリレーションなどをもとに、社内取締役・執行役員と取締役会の間やさまざまな場で忌憚のない意見交換や自らの経験に基づくアドバイスと意見を伝えることが真にガバナンスの基本であると考えます。

経営環境・市場環境・顧客ニーズの変化は常態化しております。その変化に対応できない企業は生き残れません。その変化をいち早く捉え、継続的に進化・発展するトランスコスモスであるよう貢献する所存であります。

会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名 トランスコスモス株式会社
 (商号) (トランス・コスモス株式会社)
 (transcosmos inc.)
 設立年月日 1985年6月18日
 (登記上 1978年11月30日)
 資本金 290億6,596万円
 従業員数 単体:8,045名
 グループ:15,189名
 主要取引銀行 三井住友銀行
 三菱東京UFJ銀行
 みずほ銀行

本社 東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530
 TEL.03-4363-1111 (大代表)
 FAX.03-4363-0111

大阪本部 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
 明治安田生命大阪梅田ビル 〒530-0001
 TEL.06-6457-1600 (代表)
 FAX.06-6457-1601

株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 48,794,046株
 株主数 18,029名

大株主の状況 (2014年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
公益財団法人奥田育英会	1,753	3.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,629	3.34
平井 美穂子	1,463	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,153	2.36
有限会社HM興産	722	1.48
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	619	1.27
トランス・コスモス社員持株会	607	1.25
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	590	1.21

注) 1. 上記のほか、当社が自己株式7,653千株を保有しています。
 2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2014年6月25日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一
専務取締役	向井 宏之 森山 雅勝 永倉 辰一
上席常務取締役	牟田 正明 高野 雅年 本田 仁志 白石 清
社外取締役	夏野 剛※ 瀧 浪 壽太郎※ 吉田 望 宇陀 栄次※
常勤監査役	石岡 英明 下總 邦雄
監査役	中村 敏明※ 山根 節夫※
常務執行役員	貝塚 洋 山喜 和彦 中山 国慶 河野 洋一 緒方 賢太郎 小野 敦史
執行役員	松原 健志 長谷川 勉 内村 弘幸 井上 博文 山下 栄二郎 谷川 弘樹 宮澤 範充

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 (中間配当 毎年9月30日)
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎0120-782-031
 (インターネット) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 (ホームページURL)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.trans-cosmos.co.jp>

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、
 その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞
 に掲載いたします。

●ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



トランスコスモス株式会社

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530 TEL.03-4363-1111(大代表) FAX.03-4363-0111

<http://www.trans-cosmos.co.jp>

